

令和7年度 第1回足柄広域新モビリティサービス推進協議会 議事録

日 時 令和7年11月11日(火) 15:00~16:30

場 所 松田町役場 4階4AB会議室

出席者: 杉本会長、梶田副会長、市野委員(代理:永井氏)、加納委員、森下委員、廣野委員、柳澤委員代理:山本氏)、畑野委員、佐野委員、尾登委員、山崎委員、陶山委員、田中委員(代理:風間氏)、湯川委員、岩本委員

欠席者: 加藤委員、鴨下委員

事務局: 政策推進課

鎌田拓哉、島秀明

一般社団法人ASHIGARA ON DEMAND 蛭海 友貴

オブザーバー: 地域公共交通協議会長 古館信生、小田原箱根交通株式会社 瀬戸 泰一、
松田町福祉課長 宮根 正行、松田町観光経済課長 遠藤 洋一

【会議次第】

- 1 委嘱状交付
- 2 開会
- 3 委員紹介
- 4 会長挨拶
- 5 議事
 - (1) これまでの経緯について
 - (2) AIオンデマンド交通実証の運行体制の見直しについて
 - (3) その他
- 6 閉会

【会議概要】

- 1 委嘱状交付
 - ・委嘱状を机上配布とする旨説明。新たな委員に委嘱状の交付を行った。
- 2 開会
 - ・事務局より開会のあいさつ
- 3 委員紹介
 - ・委員による自己紹介
- 4 会長挨拶
 - ・会長による挨拶
- 5 報告事項
- 6 議事
 - (1) これまでの経緯について

- ・資料1を基に説明
- ・以下、質疑応答

○委員

- ・補助で出ている福祉チケット（高齢者等移動手段確保助成事業）の「のるーと足柄（500円）」の利用はどの程度か。

○足柄オンデマンド

- ・枚数で管理しているので人数ではわからないが月間おおよそ200枚利用がある。よって月間延べ利用者1600回のうち200回がチケットの利用となる。

○委員

- ・実証実験で得られた数値は町としてどのような感想をお持ちか。

●事務局

- ・今の運行体制、地理的な条件からすると、概ねこれぐらいの数値になるだろうと捉えている。
- ・町民アンケートを含めた中でバランスを見ながら、今後の運行形態について考えていきたい。

(2) AI オンデマンド交通実証の運行体制の見直しについて

○委員

- ・新しいシステムになった時の利用登録はどうなるのか。
- ・システムの移行をした後は、富士急モビリティは運行に参加されないのか。
- ・ドア to ポイントは誰が使えるシステムか。
- ・運休期間は事業はやってるけど運行できないという理解でよろしいか。
- ・寄の目安運行は人がいなくても走るのか。

○足柄オンデマンド

- ・システム移行の際には新規に登録してもらう必要がある
- ・新計画からは富士急モビリティは参加しない。
- ・登録時の住所により松田町に住んでいる方のみドア to ポイントで利用できる。
- ・運休期間に関してはおっしゃる通り。運行ができないだけという認識。
- ・一件も予約がなければそもそも寄に上がらない。

○委員

- ・システム変更初期費用は掛からないという認識でよろしいか。
- ・山北運行はいつからか。
- ・経費の観点から予備車両が多いと思われるがどうか。

○足柄オンデマンド

- ・初期費用は掛かるがのるーとのシステムでそのまま運行よりもシステムを入れ替えた方がシステム利用料は安くなる。

- ・山北町の運行に関しては、運行計画変更と合わせて始めることを予定している。
- ・新たに追加した車両については松田町から提供いただくものなので AOD には費用は掛からないものになっています。

○委員

- ・システム導入費はいくらか。

○足柄オンデマンド

- ・バイタルリードの導入費用は 210 万。
- ・車両は全部で 8 台になるが予備車両については、運行事業者が持っている車両となる。新たに追加を予定している車両は松田町から提供いただくものとなるので足柄オンデマンドとして追加費用はかからない。

○委員

- ・移行の計画は間に合うのか。

○足柄オンデマンド

- ・利用者に対し、システムが使えるようになったら速やかな移行を呼びかける。また、町広報誌にも記事を掲載していただきたい。

○委員

- ・システムを変えることに矛盾はないのか。

●事務局

- ・システムにこだわりはない。システムを変えることを足柄オンデマンドが決めたということ。

7 閉会

以 上